

広報

かわ八

101

発行 / 岐阜県川辺町 ■ 編集 / 川辺町役場企画室 ■ 印刷 / 中部印刷 K. K



『玄関口』をきれいに 鹿塩地区で道路の草刈り

地区の入り口をきれいに——と7月10日、鹿塩地区の人たち約100人が、国道41号線と地区を結ぶ県道美濃一川辺線約3キロの区間の草刈りをしました。この道路は、同地区から町の中心部へ出るための唯一の道路で、いわば地区的『玄関口』。道路わきに雑草が生い茂って見通しが悪くなり、交通事故の危険が出てきたためと、「地区的玄関口が汚れていては……」ということで、地区民総出の清掃奉仕となったものです。当日は道路の草刈りとともに、春日神社、区民プールの清掃も行われました。地区の人たちは、これらの作業に汗ビッショリになって従事、屋ごろには見違えるようにきれいになりました。

おもな内容

- 地域農政特別対策事業のあらまし 2~3ページ
- 活躍するホームヘルパー 4~5ページ
- 町財政の状況 6~7ページ
- 愛の献血にご協力を 8ページ
- 水難事故を防止しよう 9ページ
- 参院選結果、議会だより 10ページ
- 登録免許税 11ページ
- 街の話題 12~13ページ

人口の動き	
総人口	10,463人(+6)
男	5,160人(-1)
女	5,303人(+7)
世帯数	2,489戸(+3)
転入	26人(+5)
転出	25人(-15)
= 6月末住民登録人口より =	
(カッコ内は前月末比)	



明日の農業明日指して 地域農政特別対策事業を推進

川辺町はこのほど、国が進める「地域農政特別対策事業」の推進地域としての指定を受けました。最近の社会的、経済的環境の変化に伴い農家では、兼業化の進行、休耕地・荒廃地の増加など、土地や、農業の担い手に関する問題が深刻化しています。同事業は、このような問題を解決するために進められるもので、意欲的に農業に取り組む人たちの創意と自主性を生かして農業の振興を図るとともに、農用地などの確保・有効利用、農業の担い手の育成・確保を目的としています。

まず農家で話し合い

同事業の特色は、現在農家が抱えている問題を、農家の人たちが集まって話し合うことにより解決していくこうとしている点で、問題解決の手段は、農家の人たちの主旨的決定に任せてあります。そのため、具体的な活動の推進にあたっては、この話し合いの結果が大ききなウェイトを占めることになり、その結果に沿って国が補助を行うことになります。

今年は推進活動を

事業は「推進活動」と「整備事業」の二つに分けられており、今年は推進活動を行うことになって

町では、木曽川右岸上水事業、県営ほ場整備事業、大規模県営畠地帶総合土地改良事業を実施しています。これによって土地基盤が整備されるにあたり、地区ごとに研究会や座談会を開催して農家の資本装備、農業経営の方向、組織化などについて基礎から計画をまとめて、農業の振興を図ることが必要になりました。推進活動は、そのための対策をまとめるため進められるもので「地域農政総合推進事業」と「農用地管理事業」から成っています。

推進委員を配置

これらを進めるため町では、推進活動の基本構想をまとめました。同構想には①五十四年に開設が予定されている「可茂公設地方卸売市場」の設立に伴い、組織的な生産出荷体制をつくる②水稻の受託組合を組織化し、作業の受託を推進する——ことなどを盛り込んでいます。

また、推進協議会と地区との連

▽地域農政総合推進事業
地域農政総合推進事業は、農業の振興と、担い手の育成・確保を図るための方策を定めるものです。おもな内容として①推進協議会を設置し、事業の円滑な実施についての協議を行う②営農指向、生産の組織化、土地利用の進め方、補助・融資事業の導入などについて、農家の考え方を知るために調査を行い、これらを通じて農業の担い手の組織化を推進する③農業に従事する人たちの意向を汲み上げるため、地区別検討会を実施する④農業の担い手の交流、農業生産組織の実態調査など、農業の担い手の育成・確保対策を推進する——ことがあります。

▽農用地管理事業

農用地管理事業は、農用地などの有効利用、流動化を進めるため①地区ごとに農業従事者の自主的組織を設置し、農用地などの利用調整②農用地などの有効利用に関する計画の作成、実施——を行う活動です。

緒調整役、まとめ役として、地区ごとに婦人会、農業後継者などから成る推進委員を配置して、推進体制の強化を図ります。

西栃井に “展示ほ

農作物栽培の参考に

ナスとトウモロコシを栽培

所、加茂土地改良事業所は先ごろ「木曽川右岸畑地かんがい展示ほ」を西柄井地内に開設しました。この展示ほは、農家の人たちに、ここで農作物の栽培方法を実際に目で見て参考にしてもらいたい、よい作物づくりに役立ってもらおう、と同所 井戸金之助さん(六〇)の畑を借りて開設されたもので、いわゆる“標本畑”的役割を持っています。

現在展示ほでは、ナス三百八本、トウモロコシ千本が栽培され

農家から栽培指導の依頼も

展示ほを開設した所は重粘土質で、排水は極めて不良。乾燥すると石の塊に等しく、湿れば泥にな



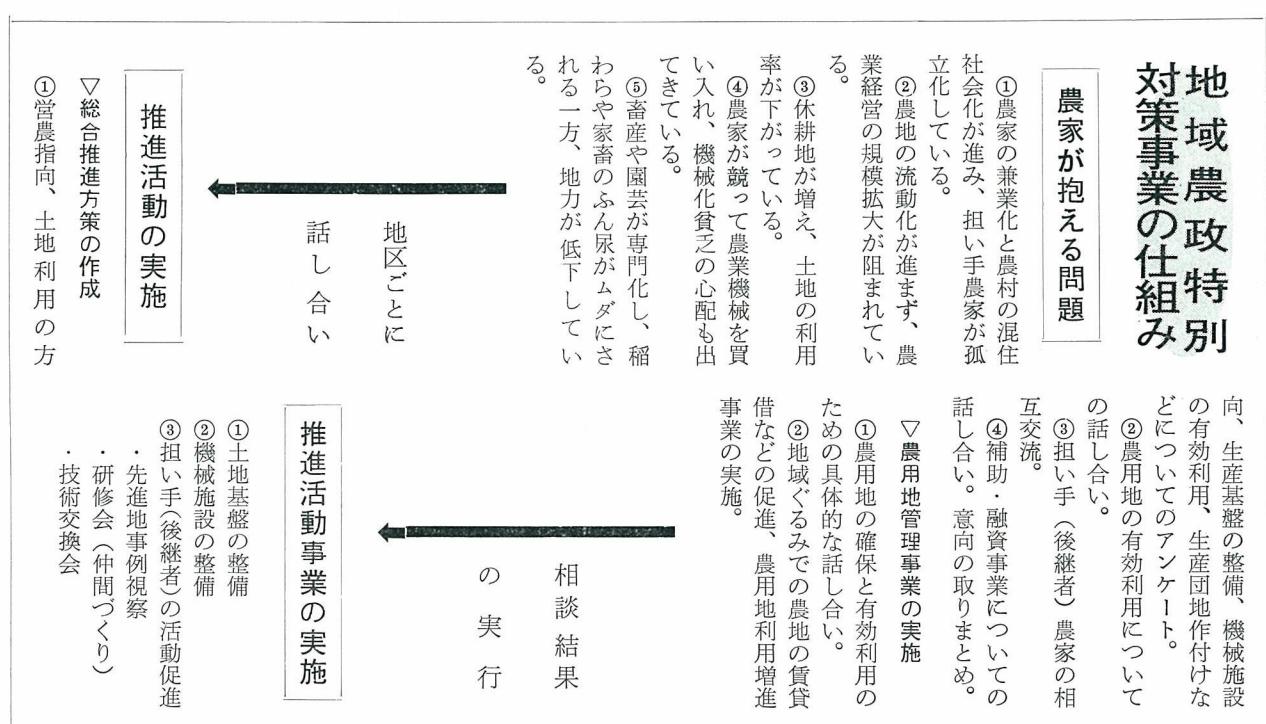
展示ほど順調に育ったナスを収穫する関係職員

話し合いに参加を

ラシを配布しています。農業のよ
り一層の発展を図るため、この話
し合いに積極的に参加してください。

地域農政特別 対策事業の仕組み

向、生産基盤の整備、機械施設の有効利用、生産圃地作付けなどについてのアンケート。
②農用地の有効利用についての話し合い。



おばあちゃん元気?

活躍するホームヘルパー

現在町内には、三十四人の独り暮らし老人がいます。そのうち、近所に親せきのある人や、全く健康で心配ないお年寄りに対しては「おばあちゃん、元気?」と声をかける程度の一連運動を展開。また、全然身寄りのないお年寄りに対しては、週二回の訪問を欠かさず行い、家事の手伝い、衣類の洗たく。住居の掃除、買い物、通院のお供、いろいろな相談などを親身になって行っています。

お年寄りたちも、安田さんと池田さんの親切でいいねいな奉仕ぶりに大変感謝しており、どんなことでも気軽に相談したり頼むなど、全面的な信頼を寄せています。そして週二回の訪問日を楽しみに待っています。

年四月からは池田知子さん(三)、西柄井が加わり、独り暮らし老人の身の回りの世話をしています。

田ヒサ子さん(四)、鹿塩がヘルパーとして活動を開始。また、今西柄井が加わり、独り暮らし老人の身の回りの世話をしています。

カメラルボ

独り暮らし老人の心の支えに——と町では昨年七月、老人福祉事業の一つとして家庭奉仕員(ホームヘルパー)を設置しました。設置と同時に安

肩をもむ



「おばあちゃん肩がこってるわね」——優しくお年寄りの



きょうは朝から雨。かさをさして独り暮らしのお年寄りを訪問

川辺町で家庭奉仕員の制度が設けられ、私もその一員としてお手伝いさせていただきました。

私たちがあくまで老人自身を主体にして、生きがいがある豊かな生活をしていただけるように、お年寄りとともに考え出来る限りのお手伝いをさせていただきたいと思つております。

訪問先では身体上の相談やら、古い話を聞かせてもらったり、掃除、洗たく、お炊事の世話またある時は病院へのつきそい等と、仕事の内容もその時々で異なりますが、訪問日を首を長くして待つてくださいと喜びとともにその責任の重さを痛感しないではいられません。

まだ十分な活動も出来ませんが一生懸命がんばり、少しでも待っていてくださる方々の心の友になれたらと思っております。



安田ヒサ子さん
(鹿塩)

お年寄りの
心の友に

昭和52年8月1日発行



ホームヘルパーの人たちと世間話をするのが楽しみの一つ。そんなお年寄りも多く、長い時間お年寄りの話し相手に

お年寄りの中には血圧の高い人も多い。そのため時々血圧測定も――



「私も手伝うわ」――お年寄りの仕事のお手伝いも



部屋の掃除もホームヘルパーがすすんで行う

ねたきりの方々またさびしくなりで暮らしているお年寄りの方が川辺町にいかに多いかを聞き、少しでも身のまわりのお世話、お相手が出来れば本当にうれしいことだと思います。温かい思いやりをもち、心のかよつた奉仕員になりたいと思っております。

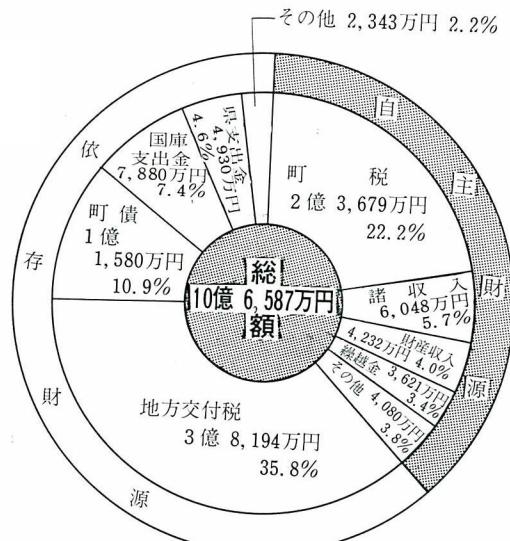
四月一日付にて役場より「家庭奉仕員」の委嘱を受けました。民生委員の方々はじめ住民課の方々、先輩ヘルパーの励ましを受けて第一歩をみ出しました。未熟な私ですがお年寄りの方々のために少しでもお役に立てるよう努力していくたいと思います。

今年は已(み)年、私の年でもあり何か一つ充実した仕事をしてみたいと思つた矢先、役場の方で「家庭奉仕員」をさがしておられると聞き、さっそく応募しましたところ採用していただきました。

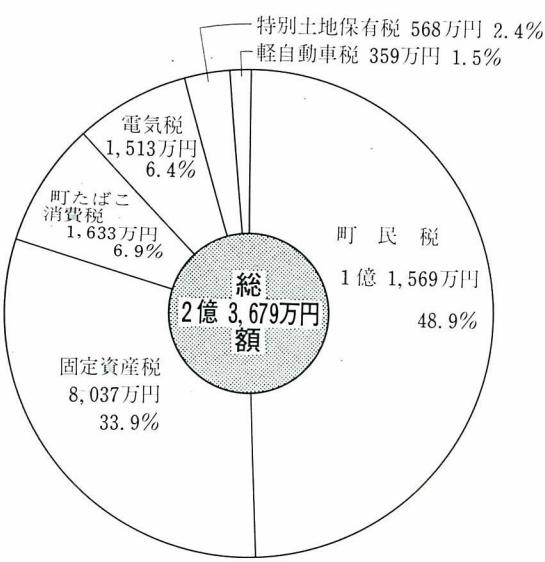
心のかよつた
家庭奉仕員に



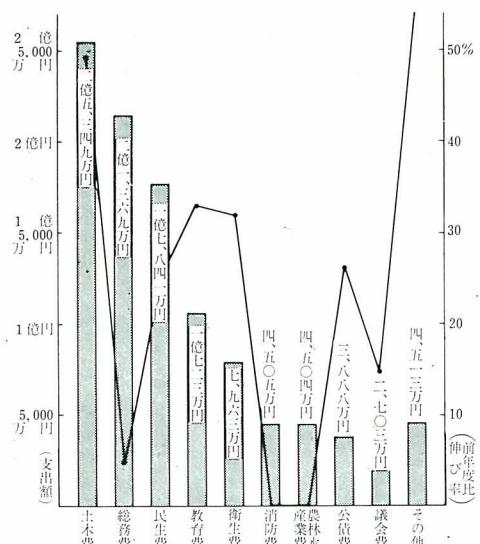
池田知子さん
(西橋井)



歳入の内訳



町税収入の内訳



歳出の内訳

皆さんに町の財政状況を理解していただき、ご協力を願うため、毎年二回町財政のふところ具合を公表しています。川辺町は、町 자체で調達できる自主財源が乏しく、収入の六〇%以上を、地方交付税や国・県支出金などの依存財源に頼っています。しかし、その少ない収入を効果的に活用し、皆さんの福祉の向上と、住みよい町づくりを目指して努力しています。

51年度決算(見込み)状況

五十一年度の財政規模は、歳入が十億六千五百八十七万円(対前年度比二〇・三%増)、歳出が十

億三千三百五十八万円(同二四・二%増)でした。

歳入

歳入で最も大きなものは地方交付税で、三億八千百九十四万円でした。これは歳入総額の三五・八%にあたります。

一人一円の税負担

五十一年度の町税収入は二億三千六百七十九万円で、歳入総額の二二・二%を占めています。町税のうち、町民税の収入は一千五百六十九万円で、町税全体の四八・九%を占めています。これから、皆さん一人当たりが負担した税金を計算すると、約一万一千六十円になります。

歳出

土木費として二億五千三百四十万円を支出しました。おもなものとして▽道路新設改良費一千三百五十五万七千円▽側溝、排水新設改良費二千二百四十二万九千円▽公有財産購入費五百六十万四千円▽堀川第一橋梁工事費三百五十五万円▽大谷ため池改修工事費二十四万円——があります。

家庭奉仕員を設置

町では五十一年度から、老人福祉事業の一つとして家庭奉仕員を設置しました。奉仕員の賃金二十一万八千円を支出しました。町では健康で衛生的な町民生活を支えるために、各種予防接種や検診が欠かせません。五十一年度は▽

予防接種委託料七十九万四千五百八十万円▽結核検診委託料二十万五千六百七十五円——などを支出しました。

歳出

そのほか教育費で、上米田小学校の通用道路改良工事費三百七十九万円、消防費で、防火水槽の新設工事費三百五十六万円などがあります。

特別会計

国民健康保険会計は、歳入が一億七千七百九十一万円、歳出が一億四千五百七十八万円でした。農業共済会計は、歳入が一千二百二万円、歳出が八百八十五万円、また、学校給食共同調理場特別会計は、歳入が四千百四十万円、歳出が四千百三十九万円でした。

かわべ町の歳出額は、前年度比二〇・三%増となりました。

昭和52年度(4~6月)予算執行状況

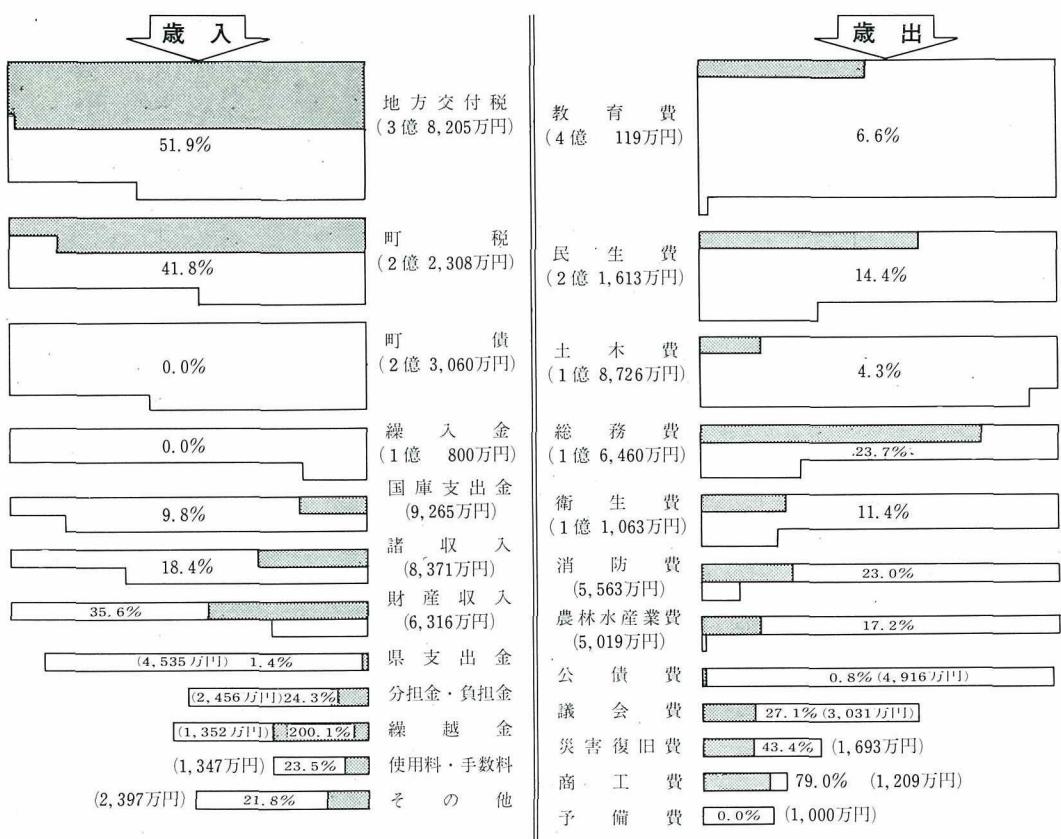
一般会計の状況

52年度の一般会計予算の総額は、当初12億9,734万円でしたが、6月末に補正予算を組み678万円を追加、予算総額を歳入歳出それぞれ13億412万円にしました。

予算の執行状況は下図のようになりますが、歳入につ

いては、4月から6月までの間に3億8,038万円の収入があり、これは予算総額の29.2%にあたります。

一方、支出額は1億6,441万円で、全体の12.6%が使われたことになります。

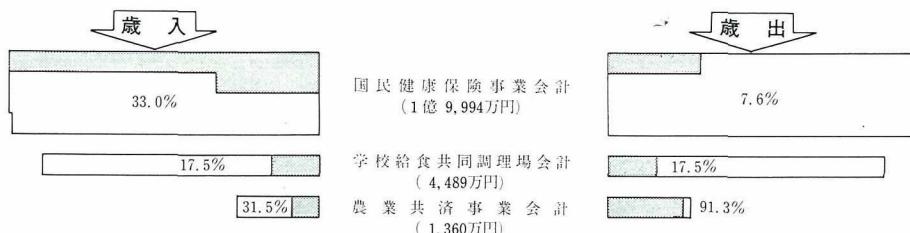


■ 4~6月執行済、()内は6月末予算額、執行率= (4~6月執行済額 / 6月末予算額) ×100

特別会計の状況

51年度4月から6月までの特別会計の収支状況は、まず国保会計では6,607万円の収入がありました。これは予算総額1億9,994万円の33.0%にあたります。支出では、76%にあたる1,521万円を支出しました。

農業共済会計では、収入額428万円に対し118万円の支出、また学校給食共同調理場会計では、787万円の収入があり、786万円を支出しました。



説明: 一般会計欄と同じ

あなたの健康の証明にも 献血者にご協力を

私たちのからだは、最近の社会、生活環境の変化による突発的な事故や成人病などの増加により、いろいろな危険にさらされており、いつ輸血を必要とする事態がおきるかも知れません。もし、血液がないため、必要な手術や輸血を受けることができず命を落としたとしたら、家族の悲しみは想像以上のものです。

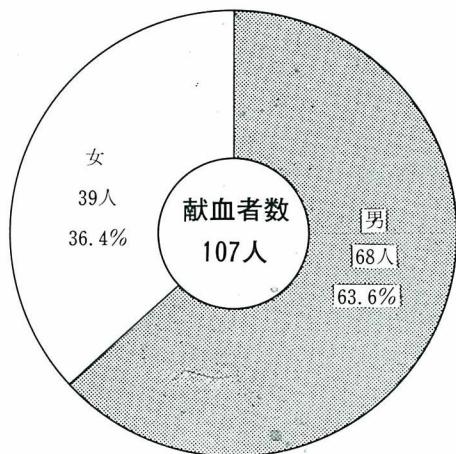
輸血に必要な献血は、重い病気や大きながで苦しんでいる人たちは生命を守るとともに、あなたの善意でできる人助け「献血」にすんでご協力ください。

胃ガン手術には 四千八百cc必要

医学の進歩によって多くの命が救われていますが、あなたの献血の協力があってこそ尊い生命が救われるのです。血液の需要量はますます増加し、保存液のほかに、患者が必要とする成分のみを輸血する「血液成分療法」が発達し、この必要量を確保するため皆さんの献血が必要です。

普通、手術の時には▽脳手術
八百一三千cc▽肺手術 千一一千
採血はしませ

昭和51年度献血状況



献血実施日程

実施場所	実施日時
禅源寺	8月30日 午前10時30分—11時15分
天龍工場	同 午後12時15分—1時
長江製陶所	同 午後1時30分—2時
下麻生駅前	同 午後2時30分—3時
給食センター前	同 午後3時30分—4時

私たちのからだには、男子で体重の約8%、女子で約6%の血液が流れています。赤血球は、毎日体内で約1%がこわれ、また新しい骨髄でつくられ新陳代謝が行われています。

一回の採血量

二百ccで、この量は採血後二三時間で回復します。

△最高血圧が百ミリを超える人
△過去六ヶ月以内に妊娠している人
△体重は男子四十五kg、女子四十kg以上の人
△血液の比重が一・〇五二以上の人

一人でも多く
の ご 協 力 を

町では八月三十日に、次の日程で献血車を巡回します。一人でも多くの人が献血されるようご協力ををお願いします。

献血された血液は、血液型判定、梅毒、肝機能検査など輸血を受ける人のための検査とともに、腎(じん)機能、高血圧、動脈硬化、糖尿病などの診断に役立つ検査を実施し、献血した人たちの健康管理に役立てています。もし、異常な数値が検出されれば本人に通知しますので、専門の医療機関で診断を受け、病気の早期発見と予防に役立ててください。

献血者の健康管理にも一役



八百cc▽人工心肺 千五百一十六千cc▽心臓手術 七百一一千八百cc▽胃かいよう手術 四百一一千二千二百cc▽胃ガン手術 三百一一千四千八百cc——の血液が必要といわれています。

献血できるのは次の基準に当てはまる人です。
△満十六歳一満六十五歳未満の人
△体重は男子四十五kg、女子四十kg以上の人
△血液の比重が一・〇五二以上の人

献血は、次のような手順で行われます。
受け付けで、所定の申し込みカードに住所、氏名、年齢などを記入するだけで、後は医師が検診して採血できるかどうか決定しますから安心です。
受け付けから約十五分間で全部済みますし、当日の入浴、仕事など日常生活に支障もありません。

献血者の健康管理にも一役



水の季節

危険がいっぱい

わずかな不注意が命とりに

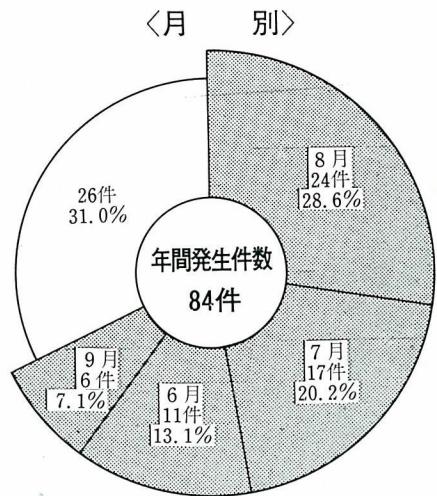
梅雨明けとともに、いよいよ本格的な水の季節を迎えました。毎年この時期になると、大人も子供の水遊び、氷氷、魚つり、ボート

す。死者も四十二人で、全体（五十八人）の七二%と多く、月別に見ると八月に一番多く事故が発生しています。

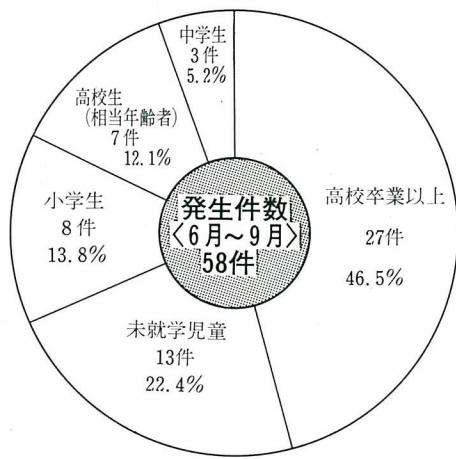
があちらこちらに見受けられます。しかし、夏のレジャーにはたえず危険がひそんでおり、ちょっとした不注意が生命にかかる事故につながります。

八月に事故集中

八月に事故集中



〈年齢階層別〉



場所別に見ると、やはり河川での事故が第一位で、全体の五三%を占めています。特に十八歳以上の人たちの事故がめだたます。第二位は用水や掘で、ここでは幼児の犠牲が圧倒的に多く、特に危険な場所といえます。

幼児の事故は、そのほとんどが母親が炊事、洗たく、掃除などでちょっとと目を離したときに、自宅近くの川、用水、池などへ転落しているものです。家事に追われ、忙しいさなかでも、たえず児兒を

昨年の夏は、水泳中に十七人が死亡しています。その原因は▽危険個所での水泳 八人▽実力以上の試み 四人▽準備体操不足による心臓マヒ 三人▽増水中の水泳 二人――となっており、すべてが無謀な水泳の結果です。

河川や用水が危険

（小学生以下）は水遊び中の事故が多く四人が死亡。次いで遊戯中の事故で三人が死亡しています。大人は水泳中の事故が最も多く、九人が死亡しています。

魚より命を大切に

細やかな愛情で見守ってほしいものです。

夏休みがやってきました。
どこの家庭の子供も、海や山へ出かけたり、こん虫採集や魚とりなどをして、夏休みを樂へ過ごしていることと思いきえられます。
でも、セミやトンボとりに興中になつて電柱や鉄塔にのぼりたりすると、落ちてけがをするばかりか、電線に触って感電し、時には死ぬということも考え方です。
また、ダムの下流で水泳や釣りをする時には、放流の警報サインに注意してください。
ダムは放流する時に、サインで知らせます。サインが鳴ると、川の水が急に増えてきます。川で遊んでいると、この水流されてしまうこともあります。

**ダムの放流に注意
子供たちを危険な場
で遊ばせないで**

卷之二

大変危険です。
子供たちを事故から守るため
に、危険な場所ではけっして遊
ばないよう、ふだんからよく注
意していくください。

停電したらス
イツチ切つて
忘れると思わぬ事故に
梅雨が明けると真夏の太陽が
照りつけ、本格的な雷の季節に
なります。

五十一年度に県下で発生した故障停電の件数を原因別に調べてみると▽落雷のため「一四一」件▽台風のため「五三三」件▽交通事故のため「二九」件▽鳥、動物のため「七」件――となり、落雷による故障停電がすばぬけて多くなっています。

停電した時はまず、扇風機、アイロン、電気コンロなど、急に送電したり知らないうちに送電すると危険なものは、必ずスイッチを切るかコンセントから抜いておいてください。送電された時、思わぬ事故や火災の原因になることがあります。

第十一回参議院議員選挙は七月十日に執行されました。今度の選挙は六月十七日に公示され以来、岐阜県地方区三人、全国区百二人の立候補があり、二十三日間にわたる選挙運動が行われてきました。

町では従来どおり、町内八カ所の投票所で、朝七時からいっせいに投票が開始されました。

当日は朝から、今にも雨が降り出しそうな空模様で「雨の降らないといふうちに投票を」という人が多かつたためか、午前中の出足は順調で、正午現在の集計で前回の参議院選（四十九年七月七日執行）を約5%上回る高い投票率を示しました。

參院選投票狀況

投票区	当日有 権者数	投 者	票 数	投票率 (%)
上川辺	1,069		791	73.99
中川辺	2,820		2,024	71.77
下川辺	501		390	77.84
鹿塩	357		306	85.71
福島	492		382	77.64
比久見	821		667	81.24
下吉田	294		248	84.35
下麻生	793		621	78.31
計	7,147		5,429	75.96

このままいけば、かなり高い投票率が見込めると期待されました。

投票総数	五百四十二票
有効投票	四二八票
無効投票	二四八票
浅野ひろむ	五票
渡辺力三	五票
青山佐々夫	二票
【全国区】	一票
投票総数	五百四十二票
有効投票	四二九票
無効投票	二九票
五、	四二九票
五、	〇六一票
三六八票	八票

が、その後出足は徐々に鈍り、最終的には前回を約三%下回る七五・九六%の投票率に終わりました。

なお、開票は同日午後七時から中央公民館で行われました。結果は次のとおりでした。

投票率は75.9%

参院選 前回を3%下回る



参院選の開票風景

中央公民館

議会だより

一般会計で六百七十万円を補正

六月二十一日から二日間にわたって開かれた第二回定例町議会では、十一案件について審議が行われ、いずれも原案どおり可決されました。審議された案件は次のとおりです。

鮮食料品の安定した供給を図るために、五十四年秋の開設をめどに準備が進められています。同市場に関する事務を共同処理するための規約が議決されました。

五十二年度一般会計補正予算

農業委員会委員に長谷川仙一氏
前農業委員会委員・有本九十九氏の辞任により、新委員として長谷川仙一氏を選任、議会の同意を得ました。

五十二年度一般会計補正予算

五百二十三万円を事故繰り越し
神坂線の工事区間にある家屋の
移転が遅れたため工事も遅れ、事
業費五百二十三万円を五十二年度
へ繰り越しました。

七十八万七千円を追加し、予算額を十三億四百十二万三千円としました。おもなものとして、第一保育園水道引き込み工事費十六万八千円、上水道事業会計への出資金三百二十五万五千円、農道舗装

■水道事業会計予算を繰り越し
報告と決算報告を行いました。

五十二年度水道事業會計補正予算

高市町村職員退職手当組合の垣
約が一部改正されました。
高可茂公設地方卸売市場 一部事務
組合の設立に同意

五十一年度水道事業会計決算が
議会の認定を受けました。

税率が軽くなります

免許税登記 移転登記は〇・一一%に

土地や家屋について、所有権の移転登記や抵当権の設定登記などの登記を受ける場合には、登録免許税がかかります。登録免許税のうち、おもな登記原因別の課税標準や税率は次表のとおりです。登録免許税の税額は、課税標準に税率をかけて計算します。

登記の原因	課 税 標 準	税 率
所有権の保存		0.6%
所有権の 移 転	売買	5.0%
	贈与	2.5%
	相続	0.6%
	抵当権の設定	0.4%
分筆・分割・区分	債 権 金 額 分筆・分割などをした後の不動産の個数	1個につき 1,000円

ります。ただし、登記を受けてしまった後ではこれらの特例は適用されませんから、登記をする前にあらかじめ税務署などでご相談ください。

②新築した人の住宅用家屋の保存登記、または新築した人から購入した人の住宅用家屋の移転登記であること

③新築後一年以内の登記であること

以下(五十二年四月一日以後に新築された木造家屋については百六十五平方以下で三十平方以上)であること

から〇・二%(五十二年三月三十日までに新築された家屋については〇・一%)へと大変軽くなります。

あることを証明する町長の証明書を、登記申請書に添付することが必要です。

農地などの移転登記

①家屋の床面積が百六十五平方以下(五十二年四月一日以後に新築された木造家屋については百六十五平方以下で三十平方以上)であること

②新築した人の住宅用家屋、または新築した人から購入した人は新築した人から購入した人の住宅用家屋であること。

③その家の新築資金や購入資金の借り入れ債務、購入代金の賦扱い債務を担保するため、その家屋を目的とする抵当権の設定登記であること

贈与によって取得した農地などの移転登記で次の要件にあてはまるものは、税率が二・五%から〇・六%へと大変軽くなります。

①贈与により取得した農地などで、贈与税の納税猶予の対象となるもの

②贈与を受けた年の翌年に受けれる登記であること

この特例の適用を受けるために登記をする際に、その家屋が①と②の要件にあてはまる家屋で

新築住宅の登記で次の要件にあてはまるものは、税率が保存登記では〇・六%から〇・二%(五十二年三月三十一日までに新築された家屋については〇・一%)へ、また移転登記では五・〇%から〇・二%(同)へと大変軽くなります。

①家屋の床面積が百六十五平方以下

新築住宅を取得するための借り入れ金などを担保するための、抵当権の設定登記で、次の要件にあてはまるものは、税率が〇・四%

④新築後一年以内の登記であること

贈与によって取得した農地などの移転登記で次の要件にあてはまるものは、税率が二・五%から〇・六%へと大変軽くなります。

①贈与により取得した農地などで、贈与税の納税猶予の対象となるもの

②贈与を受けた年の翌年に受けれる登記であること

この特例の適用を受けるために登記をする際に、その農地などが贈与税の納税猶予の対象となるものであることを証明する税務署長の証明書を、登記申請書に添付することが必要です。

税率の軽くなる特例

次のような登記は税率が軽くな

訓練生を募集

高等技能専門学校
美濃加茂 公共職業安定所

一離職者、退職

希望者対象に――

美濃加茂高等技能専門学校と美濃加茂公共職業安定所では、会社や工場などを離職し、転職を希望している人たちを対象に、次の要領で造園科の3カ月速成訓練生を募集しています。

◇入校資格 現在離職中または転職を希望する人で、健康であれば年齢、性別は制限しません

◇入校手続き 入校願書、身上調書を提出(用紙は申し込み受け付け場所にあります)

◇申し込み期間 8月20日まで

◇申し込み受け付け場所 美濃加茂高等技能専門学校(電話<05742>5-2423) 美濃加茂公共職業安定所(電話<05742>5-2178)

◇入校者の決定 8月25日、午前9時から美濃加茂高等技能専門学校で面接のうえ決定

◇授業料 無料。ただし教科書代、道具代、実習材料などの一部は自己負担

◇訓練内容 ▷学科=造園概論、植物概論、造園法、土及び肥料、園芸、法規▷実技=根掘り、植栽、造園、栽培、養生など

◇訓練期間 9月5日から11月30まで。毎日午前8時30分から午後4時まで(日曜、祝日は休み。土曜日は午前中)

◇定員 30人

◇場所 可児郡可児町土田、日本ライン花木センター



中川辺の所房枝さん(せき)はこのほど、母校の上米田小学校へ豪華なグランドピアノをプレゼント、

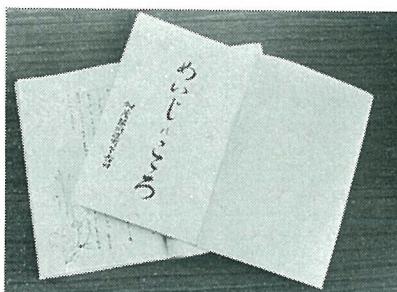


所房枝さん

児童たちを喜ばせていました。同校では七月三日、所さんを招き、授業参観を兼ねたピアノ披露式を行いました。

所さんは大正十一年に同校を卒業、これまで懐しい母校の思い出を胸に生きてきました。日ごろから「世話になつた母校のために、何か役立ちたい」と考えていました。折、同校関係者から「二十数年前に購入したピアノが古くなり、業者でも調律が難しくなつた」という話を聞き、このプレゼントを思い立つたのです。

披露式には、全児童のほか授業参観に来た父兄らも出席。町長が感謝状を贈り、平野伸彦児童会長がお礼の言葉を述べました。



姑会が発行した「めいじのこころ」

た。この後、所さん自身がピアノのキーをたたいてピアノ開き。児童全員で校歌を合唱しました。

同校では、所さんの厚意に応えるため、今後音楽教育に力を入れることにしています。

上米田小へピアノ

中川辺の所さんが寄付

下吉田姑会 思い出話など綴る

下吉田のしゅうとめの皆さんで結成している「姑(しゅうとめ)会」はこのほど、会員が昔の思い出話を綴った文集「めいじのこころ」を発行、会員間に配りました。

同会は、若夫婦と一緒に暮らしているしゅうとめの皆さん、その苦労や喜びを語り合い、家中が毎日楽しく暮らせるようになります。

二十一人で発足した同会も、会員の死亡などにより一時はさびしくなりましたが、近ごろは若いishyuとめの人たちが加入し、一段と活気が出てきました。会員が入院した時には、見舞いに行って励ますなど、固いきずなで結ばれています。

文集「めいじのこころ」は、同会の活動の一つのまとめとして発行されたもので、B5判、本文四十二ページからなっています。戦争のこと、結婚当時の苦労話などが十人の会員によって綴られており、どの作品も、会員、両親らに対する感謝の言葉がいっぱい。心暖まる文集になっています。

プレゼントされたピアノに合わせて校歌を合唱する上米田小の児童たち

ミニ・ニュース

役場へ国旗掲揚塔を寄付

中川辺の鈴木さん夫妻

六月三十日役場玄関前で、同夫妻の手により国旗の初掲揚が行われました(写真)。夫妻は昨年金婚式を迎え、その記念にとこの寄付をされたものです。



中部中へ図書購入費の寄付

多治見信用金庫育英会から

財団法人・多治見信用金庫育英会からこのほど、中部中へ図書購入費として九万五千八百円の寄付がありました。

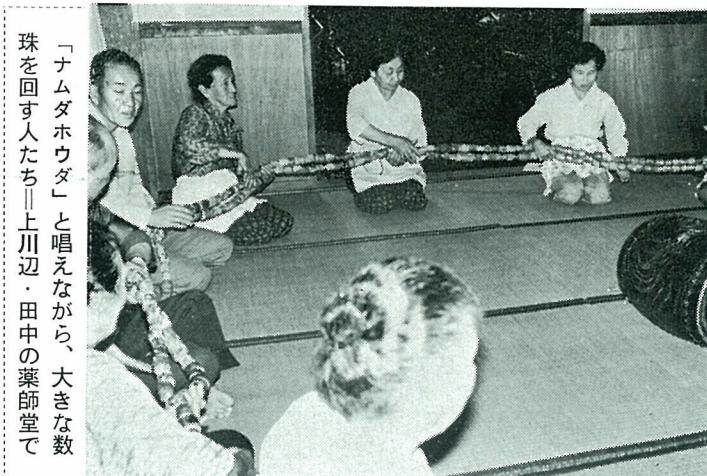
軟式野球審判クラブが発足

加藤宗章さんら十一人

町内で行われる野球大会の審判を専門的に行うため、軟式野

▲百萬遍で健康祈る

上川辺田 300年も続く行事



「これで今年の夏も元気に過ごせる」――。上川辺の田中地区では毎年七月一日から一週間、田中薬師堂で「百万遍」と呼ばれる風変わりな厄(やく)よけ行事が続けられており、今年も例年どおり行われました。

の一つで「数珠を百万遍ほども回す」というところからこの名がついたと言われています。

薬師堂にある仏像や、数珠の入れ具合などから考えて、この行事は三百年ほど昔から続いているものと推定されています。一時期、行事を中断したところ、とたんに疫病がはやり出したため再び復活したということです。

昔は、その年に結婚した男の人二人を選んで当番とし、期間中、薬師堂の清掃などを努めていました。また、行事が始まつてから三

「ナムダホウダ」と唱えながら、大きな数珠を回す人たち||上川辺・田中の薬師堂で

柔道が三年 連續優勝

第二十一回 郡体育大会

第二十一回郡体育大会が七月三日、川辺、白川、七宗など五町村十会場で行われました。



優勝した柔道



優勝した一般男女卓球

目になると、数珠の中央に子供が入り、太鼓をたたいて各家庭を回っていました。しかし、年とともにその風習はなくなり、現在では薬師堂の中だけで行われています。

夜七時半ごろから地区の人たちが集まり、数珠を十二回ほど回し、それが一晩に三回繰り返されます。

町文化財審議委員・佐伯弘行さん
は「上川辺」は「医学が発達をしていなかつた昔、庶民が健康を願つて行つたほえましい行事、また期間中、地区の人たちが集まって世間話しなどをすることにより、人々のつながりを深めようとするための一つの手段でもあつたのです……」と話していました。

袖

めだつ握力の弱さ

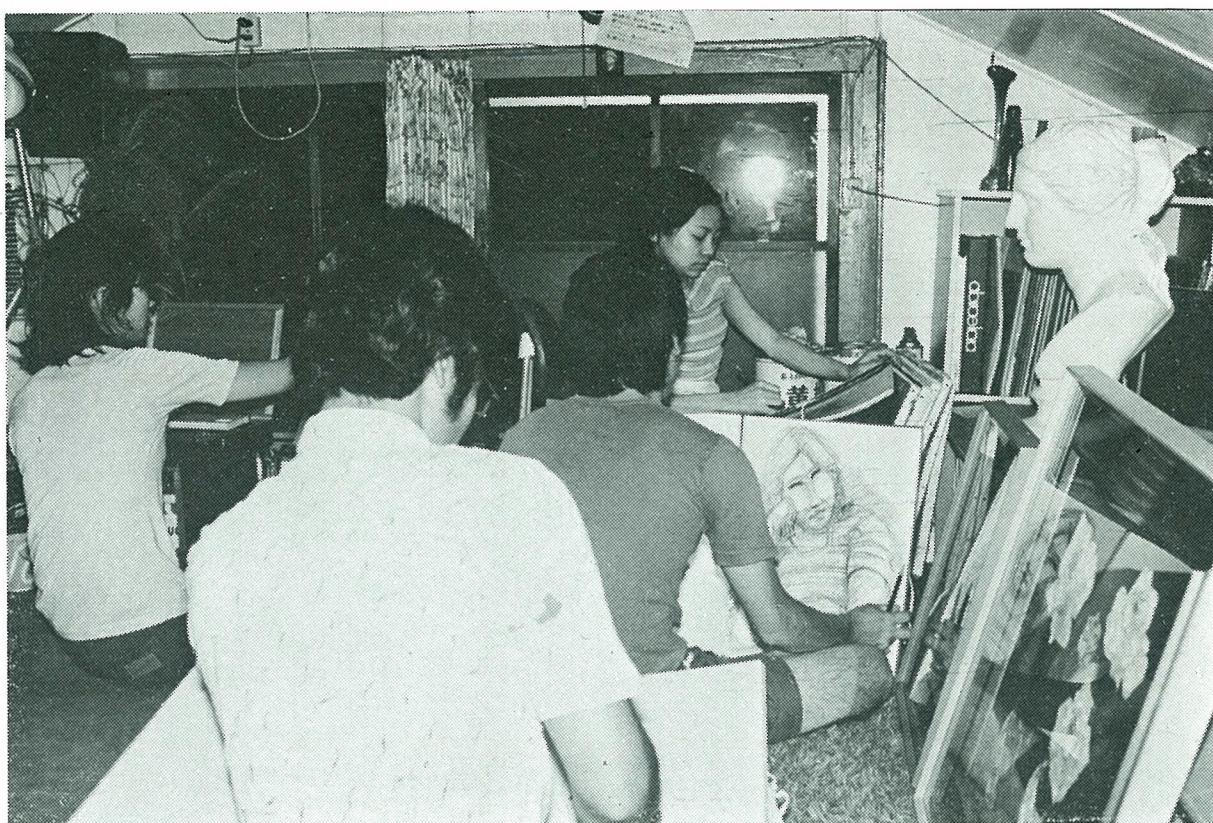
壮年体力テスト

教育委員会は、壮年層の人た

私が日常生活の基本になる体力を確かめ、健康に自身を持って生活できるよう——と六月十一日夜、中部中体育館で壮年体力テストを実施しました。このテストは昨年に続いて二度目で、今年は家庭婦人バレーボール部の部員二十一人を対象に行いました。

反復横跳び、垂直跳び、握力、ジグザグドリブル、急歩の五種目で敏しよう性、瞬発力、筋力、持久力などを測定しました。その結果、総合的には全員が年齢より若い体力を持つようになりました。しかしながら、各種目ごとに体力のアンバランスがあり、特に握力の弱さがめだちました。

夜のひととき、絵画の製作に励む皆さん=会員の一人、熊沢明美さん(中川辺)宅で



絵
作
紹介
《7》

を描いている時が一番楽しい——そんな若者たちが絵画グループ「七彩会」を結成、互いに作品の批評をしながら、コツコツと製作に励んでいます。

同会は、会長の勝村昭俊さんら中部中の同窓生四人が中心になって、町内の絵画愛好者に呼びかけ今年一月に発足しました。会の名前は、発足当時会員が七人だったことと「ニジのように明るい絵を描こう」という願いからつけられました。

七宗町の笠井昌太郎さんが講師として、また、版画で県展に入選した実績を持つ上川辺の佐伯弘行さんが顧問として参加しています。笠井さんは、数年前、中部中で美術を教えていたのが縁で、同会の指導を引き受けるようになりました。

発足後会員も増え、現在は二十歳から三十歳までの十一人。キ

ヤリアも初歩から五一六年経験者までまちまちです。毎月第二、第四金曜日には、午後七時から艇庫会議室に作品を持ち寄って、研究を続けています。農業、土木作業員、美容師、保母など職業もさまざま。忙しい合間をぬって、制作に打ちこんでいます。

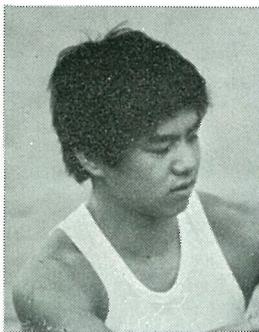
品をたくさんの人たちに見てもらい、批評を受けながら技術を向上させようと年二回の絵画展を開くことを会則で決めています。第一回の絵画

展は、六月十七日から三日間、商工会館で開催しました。同展に備え会員は、三月ごろから、油絵、水彩画、イラストなどの作品を準備。会場には、四号から三十号まで、さまざまな大きさの作品三十点が展示されました。

同展が幕を開けると、たくさんの町民が来場、作品一点一点を熱心に鑑賞していました。どの鑑賞者も「なかなかうまい」と感想をもらし、好評のうちに幕を閉じました。

同会では、一層地域の美術向上を図るため、絵画愛好者の入会を待っています。希望者は、中川辺の熊沢朱美さん(電話2066)まで連絡してください。

絵画製作が生きがい 七彩会



青森国体漕艇競技に出場する

肥田千昭さん(一九) 比久見

ボートにかけた青春

三重国体準優勝、佐
勝、今年六月に愛知県で
われた中日本レガッタ大會
に静岡県佐鳴湖で行わる
艇選手権優勝——このよ

肥田さんは、加茂高校時代にボートを始めて以来、各種の大会に出場、五十一年八月のインターハイでは、同校五位入賞の原動力となりました。

すでに、今年九月に青森で開催される国体の、漕艇競技県代表として出場することが決まっています。「ぜひ、国体二連覇を果たしたい」と、肥田さんは、真っ黒に日焼けした顔で、きょうもトレーニングに励んでいます。

わたしたちの作品

過去のもの戰禍 <small>か</small> マニラのガイド吾等 <small>とが</small> にふれぬよう	牧田たまゑ
交幻に青田かすめて翔ぶつばめ	佐々木小次郎
佐々木小次郎おもいつつ田を植う	紅谷茂
手折りては哀れと思えど吾ひとり	遠藤
見るには惜しき卯の花盛り	豊
寒天田青田となれり今もなほ	神田 繁子
微風に生るる海浜 <small>うみのみ</small> のにほい	若井 国光
古きむぎわらメロンに敷けば	横山 寿子
麦秋の思い新たにかへりくる	長瀬 宗子
送られし海の乾物友の住む	佐合
遙かなる磯静かに匂う	肥田 節子
生垣のと切れしところ水色の	
あじさいを知る夕明かり道	
ブルドーザー軸 <small>じく</small> あるはせてキャタビラの	
土に喰い入り地響き起きぬ	
蒸風は頬なでゆきて山鳩の	
声冴えわたるみやしろの朝	

○ 指先で操られるマリオネット
吾れの一夜のことかも知れず 前島一代

○ 虫干しに母織りませし紺がすり はる

手ざわりしては青春をおもほゆ渡辺節夫

○ 夕暮れの静かさ破りて白鳥の 堀下 博子

呼び交ふ声か川渡り来る

○ 亡父居ます墓に生へいし小さき草 村瀬 雅一

ちち

孫らも引きぬ白き手持て

○ 遠雷か梅雨開け近し 番蝶 前島政平

ゆらり鶴舎を越へて飛び去る

○ 久に訪ぶ母一人子一人の友の家の ねぐ

健康のしおり

食べることが大切です。

また、体質的に血圧の低い人は、無理をしないで、休養を少なくとも二時間程度増やすよう心がけましょう。

【心臓がよくない人】

夏バテ対策は個人の体質によって違います。そこで今回は、体質別夏バテ防止法を考えてみましょう。

効果も上がります。胃弱い人は特にこの注意効です。

効果も上がります。胃腸の弱い人は特にこの注意が有効です。

【太り気味の人】

冷房病にかかる心配はある

ルモンの影響で、生理も一段と水が体内に蓄れやすくなっています。さら、節水こそ夏バテ予第一条件になります。

太り気味の人は運動を

予防にはビタミンB₁が特に大切ですから、常日ごろから食生活に注意しましょう。

低血圧に貧血が加わりますと、あらゆるストレスへの抵抗力が低下します。夏はとかくあまりした食事を好むため、ますます夏バテをエスカレートさせます。従って、原因が食事にある人は努めて油っこいものを

【胃腸の弱い人】
胃は高温になるにつれ、胃液の分泌、収縮運動が弱まりますので、食事も少量精選主義に徹し、暴飲暴食は慎むようにします。

商工会では、町内で商工業に從事している人を対象に、複式簿記の講習会を次のとおり開催しています。講習を希望される人は商工会館（電話23327）まで申し込んでください。

▽講習日時　十一月一日まで毎週火、金曜日。夜七時から九時まで

▽講習会場　商工会館

▽講師　益田高校・鈴村慎吾先
生

おしらせ



—その24—

老齢福祉年金、障害福祉年金、母子（準母子）福祉年金、児童扶養手当、養育手当、特別児童扶養手当、福補手当、特別手当、健康管理手当、保健手当の受給者に対して、年六・七五%の高利率で特別に定期預金の取り扱いが行われることになりました。取り扱い期間は十二月三十一日までです。

詳しいことは、お近くの金融機関が郵便局でおたずねください。

一、右の様な事のあつた所の地主は屋敷を取上る。但し前項但書に該当した時は屋敷は返してくださる
一、身分軽い者が稼（かせぎ）に出た先などで出来心で博奕を打つた程度は、現場家主は罰せらる
一、右の家主の家財取上其（そ）の上百日の手鎖（注4）。隔日に封印改める

いします。(カツコ内は施工業者)
▽下麻生側溝改良工事(小栗建
設) 井上商店一林六郎さん宅付
近両側四百二十坪

▽上川辺側溝改良工事(武宮建
設) 元上川辺分校一農協上川辺
出張所付近二百四十坪

▽天徳側溝改良工事(渡辺工務
店) 天徳住宅取り付け道路百四
十坪

▽下川辺側溝改良工事(東濃建
設) 上組・木下守さん宅付近百

7) 一、悪い賽（さいころ）を造つて
博奕打つた者死罪或は獄門
一、右の賽を造つた者重敲（注
び）
一、右村の名主・家主・五人組過
料但し軽きは叱（しか）り
一、博奕打の頭、点とり、金主並
宿を訴え出た者には褒美（ほう

□ 広報綴について

先に株式会社商工通信から発行された「広報かわべ綴」の中に、
産業課2374、教育委員会225
75と電話番号が掲載されていました。
ですが、現在は両課とも役場本庁で事務を行っています。従って両課
にご用のある人は役場（電話225
11）まで電話してください。
お、この綴は役場とは全く関係な
りません。

出され、それに各七文字五文字
付け点數争い　注3流罪＝刑罰
として遠方の地に移す　注4手錠
織＝手錠　注5五人組＝隣組組
織　注6非人＝江戸時代の賤民
注7敲＝江戸時代の刑の一つ
注8引回し＝罪人を引回す刑
注9遠島＝陸地から遠く離れた島送り

心配されます。子供たちが、危険な場所へ近付かないよう注意してください。

■ 広報かわべでは、「ぐるうぶ紹介」「この人」欄への、皆さんの登場を待っています。気軽に、役場企画室広報係へ連絡して下さい。また、街の話題 ニュースなどもお知らせください。そのほども投稿、写真なども歓迎します。

中川辺	比久見	中川辺
下麻生	高井	小栗
中川辺	杉山	涉
天池	直美	慎治
賢三	中島	利春
51	英昭	哲之
77歳	眞実	長男
△	晴義	長女
謹んで おくやみ申し上 げます	福島	長男
下麻生	山田	長女
中川	英昭	卓也
錠一	長男	長男

おめでた
おくやみ

(六月中の届け出)

(六月中の届け出)

一戎長をぶ折り